

## (ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

## 【研究計画名】トラウマ体験に関する遺伝子解析研究 ―第二期―

【研究責任者】精神保健研究所 行動医学研究部 堀 弘明

本情報は『トラウマ体験に関する遺伝子解析研究 ―第二期―』にご参加頂いた方にお知らせしております。

## 【本研究の目的及び意義】

私たちは、心的外傷後ストレス障害(PTSD)の発症リスクや薬の効果・副作用に関連する遺伝子について研究しております。この研究は、病気へのかかりやすさ、薬の効き方などに関わる体質などについて、血液から取り出した遺伝物質(DNA)およびRNA、タンパク質を用いて調べ、新しい治療薬や病気の予防法の開発、より効果的な医療の実現に役立つ成果を得ることを目的としています。この研究への参加によってすぐに治療に役立つことはありませんが、今後の医療の発展に役立つ研究成果につながります。

## 【本研究の実施体制】

本研究は、名古屋市立大学および大阪大学と共同で行われます。

このたび、実施体制に以下の変更がありました。

研究責任者が、これまでの功刀浩(神経研究所疾病研究第三部・部長)から堀弘明(精神保健研究所行動医学研究部・室長)に変更となりました。

研究協力機関として、あいクリニック神田、若松町こころとひふのクリニック、こころとからだ・光の花クリニックを追加いたしました。

利用する試料・情報等

試料:血液

情報等:面接や質問紙等の情報

研究期間

2019年4月1日より2024年3月31日まで

ただし、2019年3月31日まで行われていた第一期の「トラウマ体験に関する遺伝子解析研究」への参加者様のデータも合わせて解析いたします。

本研究への協力を望まれない場合は、倫理審査承認後から3ヶ月後までに下記問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。なお、3ヶ月以降も同意撤回は可能ですが、すでに解析まで終了しており、その中から特定の参加者の情報を省くことが困難な場合、撤回できないことがあります。

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター  
精神保健研究所 行動医学研究部 代表者 氏名 堀 弘明  
電話番号:042-341-2712 (内線 3079)  
e-mail: hori@ncnp.go.jp

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局  
e-mail: ml\_rinrijimu@ncnp.go.jp